

アブラハヤ タカハヤ

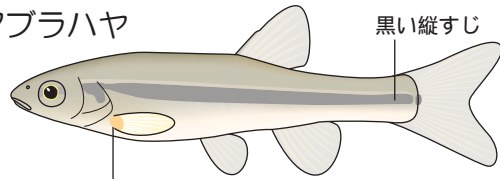
Phoxinus lagowskii steindachneri

環境省レッドリスト：カテゴリーなし

Phoxinus oxycephalus jouyi

環境省レッドリスト：カテゴリーなし

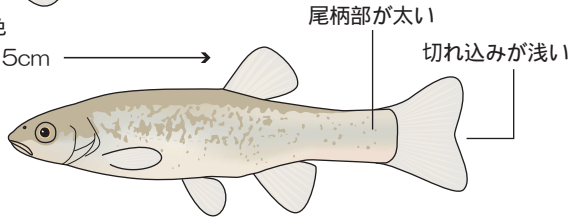
アブラハヤ



胸びれの付け根がオレンジ色

全長：約15cm

タカハヤ



尾柄部が太い

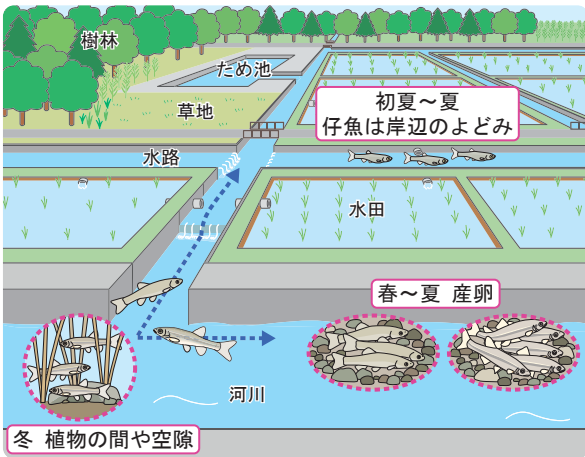
切れ込みが浅い

全長：約6~15cm

メモ 体色は淡い黄色や緑色を帯びた灰褐色で、体側に黒い縦条をもつスマートなコイ科の魚です。体がアブラを塗ったようにヌルヌルしていることからアブラハヤと呼ばれます。

生態

----> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

↔ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
			産卵	産卵	

生活史

河川や水路に生息します。主に淵で生活し、冬は岸辺の植物の間や河床の空隙などで過ごし、春から夏に、河川や水路の砂礫底に移動して産卵します。

写真



アブラハヤ



タカハヤ

アブラハヤとタカハヤは良く似ており、慣れないと区別は難しいです。両方分布するところでは、タカハヤの方が上流側に生息します。

分布

アブラハヤは琵琶湖から東の本州に分布します。タカハヤは静岡県、福井県以西の本州、四国、九州、五島列島、対馬に分布します。関東にも、移植されています。



● : 「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

配慮対策

生息環境の確保
淵、植物、空隙、砂礫底の創出

環境配慮型水路の対象工法



水路断面

【水路断面】

- 瀬・淵 p.69
- ワンド p.70
- 敷石、砂、砂利、玉石、植生 p.72



水路護岸

【水路護岸】

- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77
- 複合系（井桁護岸） p.78

【配慮ポイント】

・産卵環境となる砂礫底を形成する工夫が必要です。また、生活場所となる淵や、隠れ場所となる植物、空隙を確保することが重要です。

移動経路の確保

水路内の落差の解消

魚道の対象工法



水路魚道

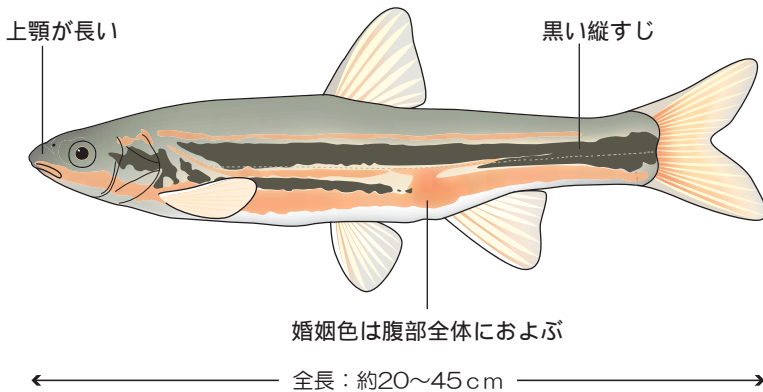
【水路魚道】

- 階段型 p.61
- 隔壁型（千鳥X型） p.62
- 隔壁型（ハフーン型） p.63
- 片斜面粗石付魚道 p.64

【配慮ポイント】

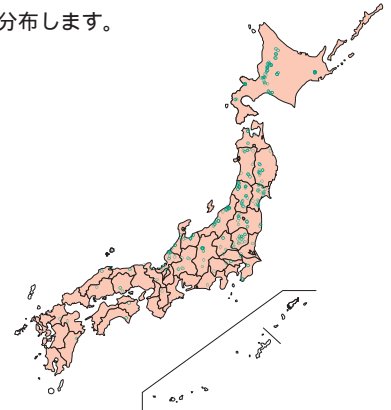
・水路における生息を配慮して、水路魚道を設置します。体が小さく遊泳力が弱いので、流速を緩やかにすることが重要です。

別名：アカハラ、イダ、クキ



分布

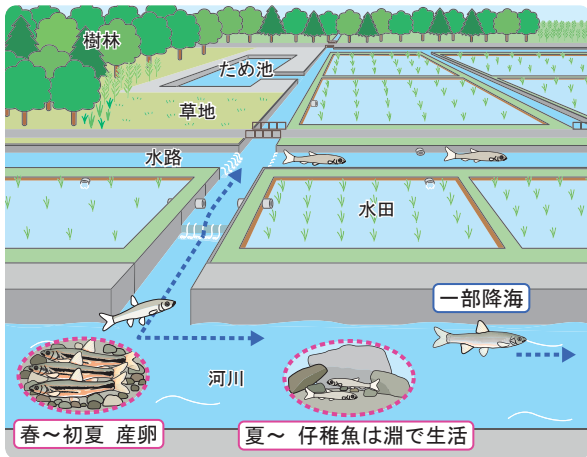
琉球列島を除く、全国に分布します。



●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

メモ 生息魚種が少ない川で優占する傾向があります。河川の上流～下流、湖など、広い範囲に生息します。

生態 ----- : 本来の移動経路 ○----- : 生息環境



主な産卵環境と生息環境 <-----> : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
			産卵	産卵	

生活史

河川や水路に生息します。淵から平瀬で生活し、春から初夏、瀬の礫底で産卵します。海へ降下する個体もいます。

写真



非繁殖期



繁殖期

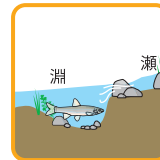
繁殖期には、赤い筋の婚姻色を呈します。

配慮対策

生息環境の確保 淵、平瀬、礫底の創出

環境配慮型水路の対象工法

水路断面



【水路断面】

瀬・淵

p.69

【配慮ポイント】

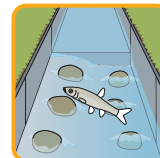
・産卵環境となる瀬の礫底、および生活の場となる淵と平瀬を形成する工夫が必要です。

移動経路の確保

水路内の落差の解消

魚道の対象工法

水路魚道



【水路魚道】

階段型

p.61

隔壁型（千鳥X型）

p.62

隔壁型（ハコソウ型）

p.63

片斜面粗石付魚道

p.64

【配慮ポイント】

・水路における生息と移動（海への降下）を配慮して、水路魚道を設置します。体高が低く、遊泳力も強いいため、いずれの魚道タイプも適用できます。